

「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」

「調べ学習」をどう支援・指導するか

本学では大分県教育委員会と連携して、平成19年度に独立行政法人教員研修センターの「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」（以下、開発プログラム）に取り組んだ。そしてその成果を小中学校や類縁機関・団体で活用していただきたく、『「調べ学習」支援・指導のてびき』とDVDにまとめお届けすることにした。

「調べ学習」ということばは明確に定義されないまま多用されているが、開発プログラムでは、「調べ学習」を【教科書以外のメディア・情報源を活用して問題解決をしていく教育実践、学習の一形態である】ととらえて開発を進めた。しかしながら、

- ・「調べ学習」の指導目標、達成目標をどう体系化するか
- ・「調べ学習」の学習内容、学習形態をどうするか
- ・高度情報化の社会現象の下での支援・指導の在り方をどう考えるか

などを明らかにできないまま、不十分ながら中間発表の形でまとめたこの「てびき」とDVDは、大きな課題を残している。

ともあれ、これら二つのささやかな研修資料が教育現場で活用され、「調べ学習」についてご意見、ご助言をお寄せくださるようお願いし、以下に開発プログラムの取り組みについての概要を報告することにする。

別府大学はなぜ開発プログラムに取り組んだか

司書、司書教諭の養成課程、教員養成課程を有し、司書講習も回を重ねて40年以上の歴史を持つ本学では、「子どもの読書活動推進法」が制定されたのを機に、平成16年から大分県教育委員会、大分県学校図書館協議会の賛同を得て、「子どもの読書活動推進研修会」を毎夏開催している。その中でつぎのような課題が出され、研修してきた。

- ①学校図書館の「人」「資料」「機能」「予算」等の実態とそれらをめぐる課題
- ②各教科及び総合的な学習の実践を通してメディア活用能力（リテラシー）をいかに育成するかという課題
- ③子どもの読書離れ、国語力、読書力の育成をどのようにして図るかという課題
- ④司書教諭、学校司書、教員、読書ボランティア等のスキル・アップの要求
- ⑤「おおいた子ども夢ライブラリー」（推進計画）具現化への課題
- ⑥学校読書調査に見られる児童・生徒の読書活動をめぐる現状と課題
- ⑦公共図書館や類縁機関の学校図書館への支援体制に関わる諸課題
- ⑧子どもの読書環境整備の遅れ、その他以上のような諸課題のうち、②及び③がとくに緊要な課題であると考えた。

教員研修センターの公募要項には「今日的



な教育上の重要課題について、各教育委員会等と連携して研修カリキュラムを開発、実践、評価、改善し、その成果を教員研修センターに報告する。」とあることから、開発プログラムが

- 教育上の重要な課題を追究すること
- 教員の研修に資するものであること
- 教育委員会等と連携して取り組むこと

これら3点を確認した上で、大分県教育委員会義務教育課と協議しながら研修カリキュラムの開発を進めることにした。

(1) 開発プログラムの内容、特徴

開発プログラム名

児童・生徒の国語力を高め、メディア活用能力を育成する指導力向上のための教員研修プログラム

開発プログラムの特徴

問題解決型学習過程における児童・生徒の国語力及びメディア活用能力の育成を図り、教員の指導力向上を目指す研修プログラムを開発し、その成果をDVD、冊子にまとめ、県内小中学校教員の研修に用いる。

研修の実施計画

日	時	9:30	12:00	13:00	15:30
第1回 7/30 (月)	開講式 「調べ学習の意義と学校図書館の役割」 日本体育大学教授 元文部科学省初等中等教育局教科調査官 成田 國英氏			【見学】別府大学博物館及びアーカイブズ・センター 「博物館、アーカイブズ・センターを活用した調べ学習」 別府大学教授 段上 達雄氏	別府大学准教授 針谷 武志氏
第2回 7/31 (火)	「子どもの学ぶ力を伸ばす朝の読書」 全国朝の読書連絡会会長 栗原 勝氏			「子どもたちに学ぶ喜びを伝えよう」 鹿児島国際大学短期大学部教授 種村 エイ子氏	
第3回 8/2 (木)	【見学】大分県立図書館・先哲資料館 「図書館を使った調べ学習コンクールについて」 大分県立図書館企画協力課長 西津 充芳氏		昼	「調べ学習を通じた国語力の育成と向上」 大分県教育庁義務教育課指導主事 甲斐 徳人氏	
第4回 8/3 (金)	「さまざまなメディアを活用した調べ学習」 別府大学教授 石井 保廣氏			【実習支援1】 「メディアを活用した調べ学習」 〈児童・生徒が参加〉	別府大学メディア・教育センター 室谷 征一郎氏
第5回 8/7 (火)	【実習支援2】 「メディアを活用した調べ学習」 〈児童・生徒が参加〉		食	【実習支援3】 「メディアを活用した調べ学習」 〈児童・生徒が参加〉	
第6回 8/8 (水)	【実習支援4】 「メディアを活用した調べ学習」 〈児童・生徒が参加〉			【実習支援5】 「メディアを活用した調べ学習」 〈児童・生徒が参加〉	
第7回 8/9 (木)	【セッション】 「メディアを活用していかにして児童・生徒の学習意欲を育てるか」 袖ヶ浦市立根形小学校教頭 嶋田 道雄氏				閉校式

(2) 国語力、メディア活用能力育成を目指す実習支援

児童・生徒が3日間の「調べ学習」の実習を通して、意欲的・主体的に問題を解決する資質や能力を育成するために、次の諸点を中心に実習支援をし、教員の指導力向上を目指す。

- ①児童・生徒が自ら課題を見つけ、課題を決め、課題を解決しようとする意欲を大切にし、知識だけに留めないようにする。
- ②メディアを「なぜ使うか」「どう使うか」を振り返らせながら（【理解→体験】【体験→理解】）、メディアの特性を活かした効果的な問題解決の仕方を学ばせる。
- ③必要かつ適切なさまざまな情報を探し、選び、整理し、活用することができるようにする。
- ④課題に合わせて的確に情報を収集することを体験させながら、マナーやモラルを守る必要があることを適宜理解させる。
- ⑤別府大学の施設設備、情報機器等を活用することができ、最もふさわしい方法で探した情報を整理し、まとめることができるようにする。
- ⑥調べたことをまとめ、より効果的に発表することを通して発表力を養う。
- ⑦以上のことを通して国語力・コミュニケーション力、メディア活用能力の育成・向上を図る。

(3) 研修資料としての開発プログラム

開発プログラムに実際取り組んだ7日間の成果や課題、指導法等を

*DVD「メディア活用能力の育成を図る学び方の指導」（仮題）

*冊子『「調べ学習」支援・指導のてびき』

を作成し、学校その他関係機関・団体に配布する。

(4) 開発プログラム参加者

小学校教員 32名 児童 21名

中学校教員 15名 生徒 24名

